

17 労働組合と上部団体（地域団体）

- 幅広く連携し、労働者の地位向上を図りましょう。
- 上部団体（地域団体）への加入は、組合の利益と組合員の意向で判断しましょう。

上部団体（地域団体）の役割

労働組合の結成や団体交渉の際、他の労働組合や上部団体（地域団体）等の援助を受ける場合があります。団結の力が弱かったり、使用者の力が強く労使の力のバランスがとれていなかったりする場合や労働条件等について同一業種・同業他社の状況を知りたい場合、また、企業内の問題だけでなく幅広い活動をしたい場合などに、上部団体（地域団体）に加盟することがあります（上部団体については80～83ページを参照してください）。

上部団体（地域団体）には、専門的な知識と豊富な経験をもつ役員や組合員がおり、加盟組合間の連携をとったり、調査資料の発行、情報収集や情勢の分析、活動方針の提起や指導・支援を行ったりします。さらに、団体交渉や争議の場合には、加盟組合だけでなく、その加盟組合員の支援を行うこともあります。

上部団体（地域団体）への加入にあたって

上部団体（地域団体）の活動資金は、加盟組合の負担金によって賄われていることが多いですから、上部団体（地域団体）に加入すると組合費（負担金）を納めなければなりません。また、加入した場合には、上部団体（地域団体）の規約や行動・活動についての指示・要請にも従わなければなりません。そこで、上部団体（地域団体）に加入する場合には、どの団体が自分たちの組合の利益に適い、組合員の意向に沿っているかということ判断していくことが重要になります。

そのためには組合員が理解を深め、十分な討議ができるように、あらかじめ対象となる団体の規約、方針、活動状況、組合費等の資料を入手したり、その団体の役員に説明に来てもらったりすることも大切です。なお、

上部団体（地域団体）に加盟するか否か、どの団体に加盟するかは、大変重要な問題であるため、通常、大会（総会）の決定事項としていることが多いようです。